
言って後悔するより言わないで後悔するの方がショックが大きい

イタカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言って後悔するより言わないで後悔するの方がショックが大きい

【Nコード】

N4407G

【作者名】

イタカ

【あらすじ】

千尋がずっと好きだった。しかし、彰は告白する勇気が出ない。

(前書き)

ちよいち長いかもです。

幼稚園の頃。

僕は1人の女の子が好きだった。

その子は短髪でいつもドロドロ。男みたいな女の子だった。

その子に僕は告白した。

「ねえ、ちひろちゃん。おおきくなったら僕とけっこんして？」

「いいよ。あきらくん。約束だよ！」

この後、指切りをしたのを微かに覚えている。

小学校。

千尋は髪を高い位置で2つに結んでいた。

幼稚園の頃より、もっと好きになった。学年が上がるにつれ、千尋はどんどん女らしくなっていく。卒業式の日。僕は千尋に約束のことを聞いた。

「あの約束、覚えてる？」

「あの約束って？」

「幼稚園の時の」

「ああ、うん。覚えてる。指切りしたもん！」

千尋は笑顔で答えてくれた。

でも、この後付き合い出したわけじゃない。

中学校。

千尋は腰まであるような黒髪のロングだった。

頭がよく、男女ともに人気も高かった。3年の時、千尋は生徒会長になった。

僕は

「今の僕では不釣り合いだ」と思ったのか、卒業式の日には告白もせず、約束のことも聞かなかった。

高校。

千尋は髪を明るい茶色に染めた。

その髪色と同じように千尋も明るかった。

部活のテニスではシングルスで全国大会に出場した。

生徒会選挙では2 / 3以上の票を獲得し、また生徒会長になった。

僕はまた、告白できなかった。

大学。

千尋はミスキャンパスに選ばれた。在学中に司法書士の試験に合格するという快挙も成し遂げた。

国際弁護士になるのが夢だと、千尋が友達と話しているのを盗み聞きした。

そして僕は、とうとう千尋に好きだと伝えることができなかった。

大学を卒業し僕はサラリーマンに、千尋は弁護士事務所に入った。

差は開くばかりだった。

「もう約束なんか覚えてないだろう」

僕は千尋への長い片思いに、そろそろ終止符を打とうとしていた。程なくして強制的に終止符を打たされる出来事が起きた。

千尋が結婚した。

相手は同じ弁護士事務所の人らしい。

「ああ……やっぱり、覚えてなかったか……」

わかりきっていたことなのに、僕の心にはポツカリと大きな穴が空いたみたいだった。

それからの僕は、すごかった。

上司が心配するほど、仕事づくしの毎日をおくった。

そして僕は30歳になった。

周りからそろそろ結婚しろと言われ始める。そのことに嫌気がさし、

僕はストレス解消に高校の同窓会に出ることにした。

12年ぶりに会うと、さすがに皆変わっていた。

その中に、千尋がいた。

長い黒髪をポニーテールにまとめている。黒縁の眼鏡が、千尋の印象を【マジメ】にしていた。

「千尋……だよな？」

僕は勇気を出して話かけてみる。

「もしかして、彰くん？うそ！彰くんだよな？久しぶり！」

覚えていてくれた。この事だけで、僕の心は幸せで満たされていく。

「彰くん、覚えてるかな？覚えてないよねーさすがに。幼稚園の時にした約束」

「え……覚えて、たの？」

うそだろ、という気持ちだった。

「覚えてたんだ！じゃあ何で告白してくれなかったのよ！私、待ってたのに」

「待っ……てた？」

「そう！私待ってたのよ！だから、ずっと彼氏も作らなかったのに……」

信じられなかった。これは夢か？と思ってしまっただった。

「ずっと彰くんのこと、好きだったんだよ？でも告白してくれないから……結婚しちゃったじゃん」

僕が告白していれば、千尋は今ごろ僕と付き合っていたのだろうか。僕と結婚していたのだろうか。

僕はこの時ほど人生で後悔したことはない。

(後書き)

未熟で文章ぐちゃぐちゃですが読んで頂きありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4407g/>

言って後悔するより言わないで後悔するの方がショックが大きい

2010年12月3日03時45分発行